

東広島市史編さんだより

第2号 令和5(2023)年9月1日



西条教育研究大会に向け黒橋を渡る参加者たち（昭和30年頃：南から）

この写真は、毎年6月に西条小学校で開催されていた「西条教育研究大会」の参加者を撮影した写真です。今は、西条中央の高台に建つ西条小学校ですが、昭和37年に移転するまでは西条駅の北側にありました。

大正12(1923)年、西條尋常高等小学校長さいじょうじんじょうこうとうしょうがっこうに着任した檜高憲三氏ひだけんそうにより実践された「西条独創教育さいじょうどくそうきょういく」は、子どもの自主性、個性を重視した教育活動として全国から注目されていました。独創教育の理念に基づく授業が公開される「西条教育研究大会さいじょうきょういくけんきゅうたいかい」には、多い年には全国から2日間で2,000余名の参加者を集め、西条駅周辺の旅館も賑わったようです。地域を挙げて開催されていた研究大会は、昭和3年から昭和34年まで戦時中も休止することなく32回開催されました。戦前、戦後を通じて行われた研究大会を通じて教員同士が切磋琢磨せつさたくまし、より良い教育を求める伝統は、今も各学校で実施されている公開授業に引き継がれています。

旧西条、吉土実、御藪宇、下見の4小学校の合併に伴い昭和37年に移転した後の旧西条小学校の跡地は、その後旧西条保育所となり、現在は市営西条駅北駐車場へと姿を変えています。

1 組織紹介

令和12年度まで順次刊行する「東広島市史」の編さんのため、次のような組織と役割を設定し、事業を進めています。

●市史編さん委員会

市史編さんの基本方針や基本計画、市史編さんに関する重要な事柄を審議します。

各分野の学識経験者や関係団体の代表者で構成されます。

●市史編集部会

市史編さん専門部会の代表者で構成され、市史の編集に関する専門事項や市史編さんについて専門部会間にまたがる問題について調整を行います。

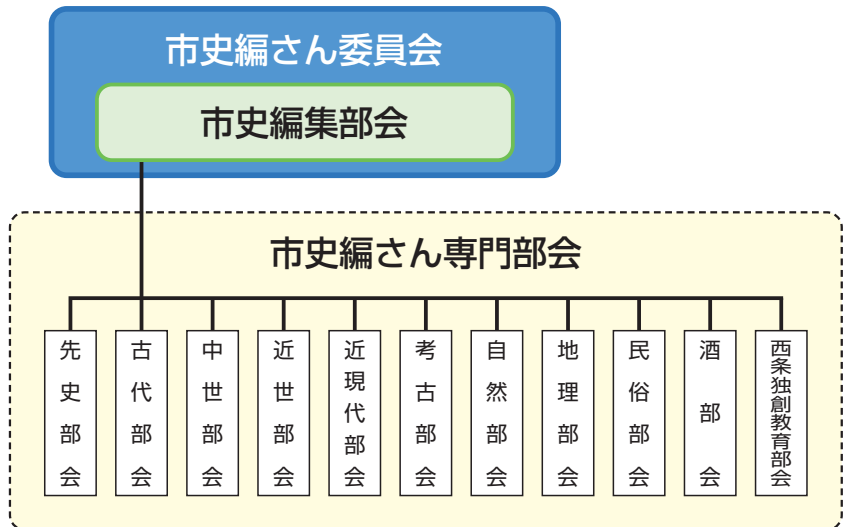
●市史編さん専門部会

専門分野ごとに設立し、市史のための資料調査や研究、刊行物の執筆を行う組織です。

市史編さん委員会の決定に沿って、部会長のもと執筆を進めていきます。各分野の専門家編成されます。



東広島市史編さん事業組織図



市史編さん委員会名簿 (20名)

役職	氏名	所属団体等
委員長	勝部 真人	広島大学名誉教授
副委員長	赤木 達男	東広島郷土史研究会会長
委員	石田 雅春	広島大学75年史編纂室准教授
委員	市場 一也	東広島市教育委員会教育長
委員	今田 幸博	東広島市文化財保護審議会会長
委員	岡崎 環	広島民俗学会会長
委員	岡橋 秀典	広島大学名誉教授
委員	岡谷 陸生	豊栄町郷土史研究会会長
委員	川口 一成	東広島市副市長
委員	佐竹 昭	広島大学名誉教授
委員	棚橋 久美子	元広島大学客員教授
委員	谷口 稔	黒瀬郷土史研究会
委員	中坪 孝之	広島大学総合博物館館長
委員	西村 晃	広島県立文書館研究員
委員	本多 博之	広島大学大学院教授
委員	宮本 征昭	河内町郷土史研究会会長
委員	矢原 大和	安芸津町文化連盟顧問
委員	山内 吉治	東広島熟年大学名誉学長
委員	脇坂 光彦	元広島県埋蔵文化財調査センター調査研究課長
委員	渡辺 弘行	福富町郷土史研究会

2 市史編さん専門部会紹介

市史編さん専門部会では各分野の執筆者が市史編さんに向け、資料調査を進めています。今回は、令和6年度を予定する先行編刊行に向け活動する2部会を紹介します。

酒部会

江戸時代から現在までの東広島の酒造りのあゆみをたどります。江戸時代には主に地産地消であった東広島の酒造りは、明治中期からの先進的な数々の取組が実を結び、地域を支える産業となりました。全国的な銘醸地となった明治末期以降、今も個性豊かな名酒の産地です。

本部会では、古文書や行政資料などを読み解き、聞取調査や実地調査もあわせて、酒造りのあゆみを描きます。



【執筆者】

部会長	棚 橋 久美子	元広島大学客員教授
部会員	石 川 良 枝	広島県立文書館従事員
部会員	尾 川 弘	元東広島市史編さん調査員

西条独創教育部会

明治時代の学校の誕生から現在までの東広島の人づくりのあゆみをたどります。なかでも大正12（1923）年に西条尋常高等小学校長に着任した檜高憲三氏により実践された「西条独創教育」は、現在求められる個別最適な学びと協働的な学びを体現した先進的な教育活動でした。

本部会では、「西条独創教育」の資料を中心に読み解きながら、東広島で行われてきた教育活動の歴史をまとめていきます。



【執筆者】

部会長	山 内 吉 治	東広島熟年大学名誉学長
部会員	小宮山 道 夫	広島大学森戸国際高等教育学院准教授
部会員	津 森 毅	学校支援センター長

3 市史の資料を集めています

市史を編さんするため、まちの歴史や東広島市らしさを語ってくれる次のような資料を探しています。

- 古い書物
- 亡くなった家族の手紙や日記
- 昔行われていた行事のチラシや新聞記事
- 東広島市域で撮影された風景写真や家族写真
- 古い絵葉書
- 古い家並みなどを記した地図や絵図
- 和紙に墨で書かれた書状や帳面



このような資料があるときは、
ぜひ市史編さん室にご連絡ください。
皆様の情報提供をお待ちしています。

事務局通信

先行編の執筆を担当する酒部会・西条独創教育部会ともに令和6年度の発刊を控え、調査や会議など活動が活発になってきております。西条独創教育部会の豊栄小学校の資料調査に同行した際には、児童の皆さんが元気よくあいさつしてくださったことに感心したり、クマ除けの鈴をさげて下校していたのに驚いたりしました。調査した資料には先生に引率されて子ども達が登山したり、安芸高田へ遠足に行っている記録があり、その健脚ぶりにも驚かされました。

これからも資料調査を通して新たな発見があるでしょう。

市民の皆様にはどのような市史が編まれていくのか温かく見守っていただけると幸いです。



東広島市史編さんだよりー第2号ー

発行日 令和5(2023)年9月1日
編集・発行 東広島市教育委員会 生涯学習部 文化課 市史編さん室
〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号
TEL: 082-420-0977 FAX: 082-422-6531
E-mail: hgh200977@city.higashihiroshima.lg.jp
印刷 一般社団法人東広島自立支援センターあゆみ

西条まちなみ物語

あかがわら しらかべ じょうぞうまち
 ~ 赤瓦・白壁・赤レンガ煙突の織りなす醸造町 ~

Vol.1

東広島市では、伝統的な建造物が多数残っている西条酒蔵通り地区の町並みを未来に継承していくために、「伝統的建造物群保存地区制度」を導入することで保護し、活用していく取り組みを行っています。この制度は、歴史的な集落や町並みを保存し、活用するもので、それぞれの建造物を単なる「点」で保存するのではなく、建造物や町並みを周辺環境も含めた広い「面」として保存し、伝統的な景観を復元しようとするところに特徴があります。

今後、この「西条まちなみ物語」の中で、伝統的建造物群保存地区制度や町並みの価値、これからの展望などについてご紹介していきます。

今回の豆知識

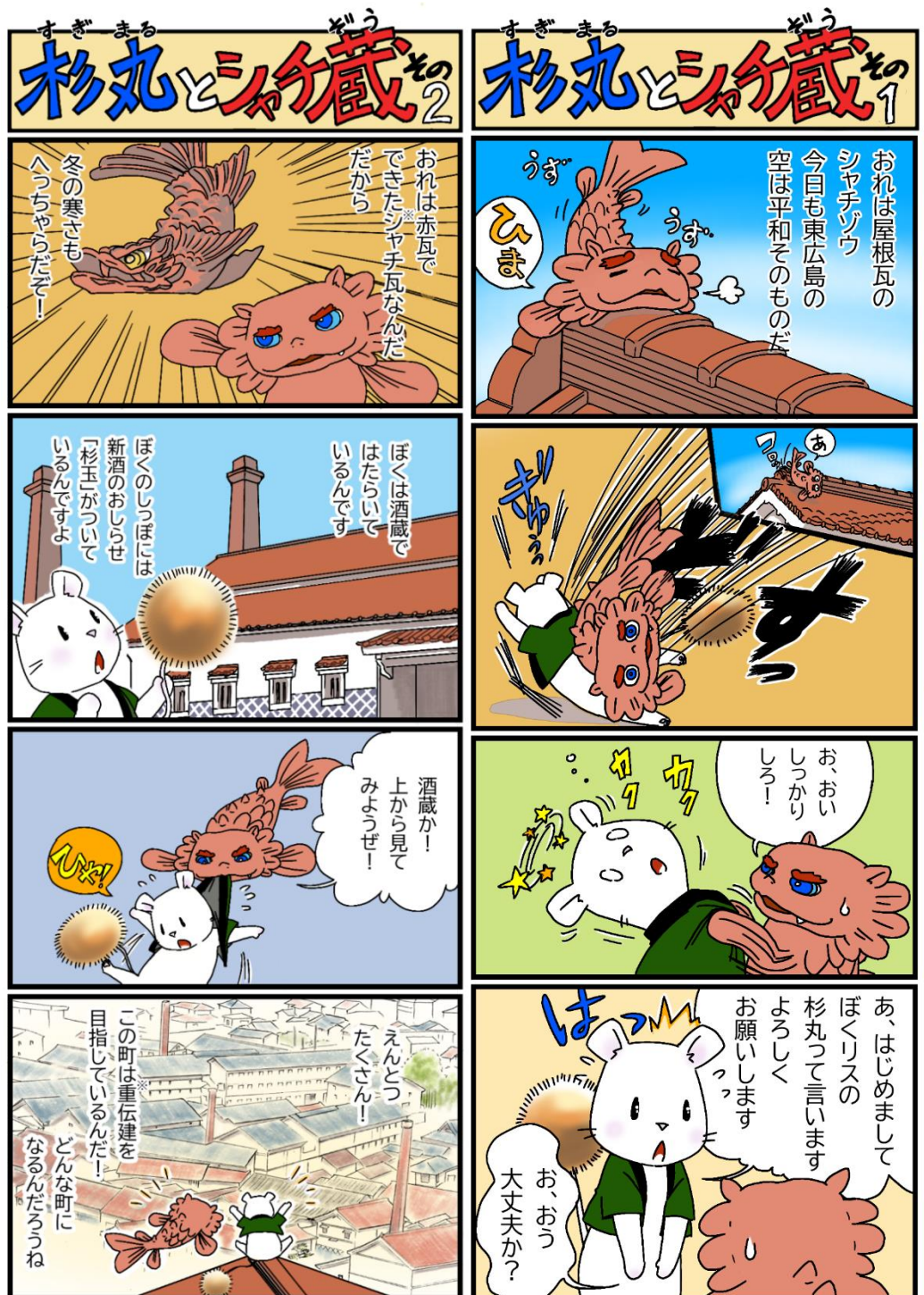
重伝建とは？ ※

「重要伝統的建造物群保存地区」の略で、市町村が定めた「伝統的建造物群保存地区」から、市町村の申し出によって、国が選定したものを指します。

シャチ瓦とは？ ※

屋根の上に載っているシャチは、お城の天守閣などに見られるシャチホコと同じで、建物の威厳を高めるとともに、火災除けのお守りとして設置されたものです。このシャチは、空想上の魚で、クジラの仲間のシャチとは別物です。

民家のシャチ瓦が普及するのは戦後のことですが、その分布は西条をはじめとする広島県内の赤瓦地域を中心としており、東広島のシンボルともいえるものなのです。



守りたいのはどの範囲？



赤い枠の範囲はどうやって決めたの？

次の条件で設定しました。

江戸時代の宿場町から近代の醸造町へと発展した町並みと伝統的建造物がまともに残る地区

その上で、次の特徴がある範囲で線引きを行ったものです。

- ① 宿場町として栄えた江戸時代の短冊形の地割と、田畑を造成した近代の醸造町の地割が良く残っていること
(※地割とは、町家や酒蔵、街路のために区画された土地のことを言います。)
- ② 伝統的建造物がまともに残っていること
- ③ 保存することで、宿場町から醸造町へと発展した酒蔵通り地区の特性が良く分かるエリアであること

詳しくはこちらからご覧ください。

